

令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立四箇郷小学校
作成日	令和3年3月9日

1 教育目標

心身ともにたくましく、豊かな人間性を身につけ、自ら学ぶ子供を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	地域とともにある学校	豊かな心	確かな学力	安全の確保
指標	学校評価アンケート項目「学校は、学校の教育活動や子供の様子を保護者にわかりやすく伝えている」⇒『思う方』の回答85%以上	・図書室への総来室者数⇒前年度を維持 ・保護者アンケートで学校教育・生活でのルールやマナー、モラルに関する設問にて、前年度より「わからない」という回答を減らす。	今年度実施の県学習到達度調査の結果が県の平均を上回る。	学校評価アンケート項目「学校は、子供の安全確保・健康管理のための取組を十分行っている」⇒『思う方』の回答85%以上を維持
意見 重点 目標 に対する	・朝のあいさつ運動の実施回数を増やす。 ・学校ホームページの更新を定期的に行うことで、閲覧者数を増やすようにする。 ・学校だけでなく、学級だよりも発行することで、学校の様子を一層分かりやすく伝えていく。 ・コロナ禍にあっては地域の方々との交流は難しい。	・今の子供達にとって、豊かな心を育むために道徳教育や体験活動は大変重要だ。 ・1日15分の読書タイムを充実させていく。 ・高学年になるほど読書量が減っている。積極的な推進活動の必要性を感じる。 ・図書室の掃除をきちんと行うように指導する。 ・道徳の授業でどんなことを学習したのか聞いても、うまく答えられないことが多い。	・基礎学力の強化のため、反復練習を取り入れる。 ・基礎学力を定着させるために、人気キャラクターを使ったり、目標を作ったりするなど工夫されていた。 ・子供にとって身近なものに例えて話合いの場を提供してくれていた。 ・全学年がコミュニケーションを図る機会を設定してはどうか。	・安全確保のため、登下校指導のボランティアをさらに募るのはどうか。 ・教師が下校時の様子を確認に来る機会を増やす。 ・集団（一斉）下校では、遠いところまで先生に引率してもらいたい。 ・防犯カメラを増やしてほしい。
意見 取組 状況 に対する	・学校ホームページの更新回数が少ない。 ・行事の中止や変更など、校長の思いを込めて経緯を説明されていた。子供達の様子や学校の取組が分かりやすかった。 ・休校明けの学校の様子は頻度を上げて伝えた方がよかった。 ・地域の方々との交流を深めるために、定期的子供たちと接する機会が必要と感じる。	・道徳は子供達の正直な気持ちを伝えあう場にしてほしい。 ・コロナ禍にあっては工夫した体験活動を実施すべき。 ・子供達は道徳の授業や体験活動、遠足などの行事を通じ、思考力、判断力・表現力を向上させている。 ・バスの台数を増やしたり、行き先を統一したり配慮されていた。	・放課後フォローアップ事業は可能であれば、4年生以上を対象にしてほしい。 ・漢字の博士試験は楽しみにして取り組んでいる。 ・各担任は、「勉強が楽しい」と思えるように授業展開を工夫していた。 ・基礎学タイムの取組を保護者にも伝えて欲しい。	・四箇郷地区子供を守る会の方々との意見交換を行い、登下校の状況把握を行う。 ・今後も感染症対策を徹底する。 ・コロナ禍においても避難訓練を実施してくれ有難い。 ・階段や廊下が暗い。 ・掲示物が外れていたり、蛍光灯が切れていたりしている。牛乳をこぼしていてもそのままになっている。
対取 組の 適切 さの 検証 結果 に	・今年は特に学校に行く機会が少なかったため、学校の様子が分かりにくい。そのため、様々な手段での情報発信が必要。伝達するだけでなく、趣旨説明も欲しい。学校の様子を「見える化」する工夫も必要。 ・ホームページでは学年ごとの特集を組むといいのではと思われる。	・世間の風潮にもモラルを軽視する傾向がある。道徳での取組を家庭でも実践できるよう、資料の配布や授業の趣旨を説明するなどの工夫があってもいいと思われる。 ・図書ボランティアの方々の力を借りて、読書好きの子供を増やしていけるような工夫が必要。	・基礎学力向上に向けた取組を校内で統一するのはいいことだと思われる。 ・先生方に共通の認識を持ってもらう取組は今後も継続していくべき。課題等についても同じ方向性をもって解決策を講じていってほしい。	・計画的に避難訓練が実施されているので、先日の地震の際は、先生の指導の前に自分たちで行動できたようであった。 ・感染症対策として自動水栓やレバー式の蛇口に変更したのはよかった。引き続き対策の徹底を。 ・警報発令時は先生方の安全にも配慮していただきたい。
改次 善年 方法 法に 向 対 対 する の 意 見	・早い時期に授業参観や家庭訪問の実施が望ましい。コロナ禍にあってはできるような工夫が必要。 ・個人懇談の機会を増やすことで、子供の成長を共有できる。 ・学校教育のためにも学校、担任と保護者との関係を構築していくべき。 ・育生会側からも地域の方々との交流を深め、地域の誇りを後世につなげていきたい。	・授業参観で道徳の授業を実施し、感想など話し合う中で親子のコミュニケーションを図れるようにする。 ・学校開放期間の土曜日に多くの子供が学校に来れるような行事を入れる。 ・保護者向け情報モラル教室の実施を検討していきたい。 ・体験学習はコロナ禍にあっては対策を講じ実施していく。	・研究授業を重ねることで指導力を向上させ、子供が待ち遠くなるような楽しい授業を期待する。 ・2年生の段階での九九の定着に向けフォローを手厚くする。 ・4年生以上に放課後フォローアップを取り入れる。 ・保護者に参考例を示し、家庭学習の定着を図っていく。	・登下校を見守ってくださっている方への感謝の気持ちを忘れず、子供自らも安全に気をつけるよう指導する。 ・校舎の改修工事が決まったらその都度知らせていく。 ・校区内の危険箇所を共通理解できるようにする。 ・感染症対策の徹底 ・熱中症対策も引き続き行う。

3 その他のご意見

・コロナの影響はまだまだ収まることはないと思います。対策を十分をお願いします。
・行事等で子供を体育館に集められない中ですが、工夫されて子供達のために努力されている様子を聞いて感銘を受けました。安全安心を大切に今後も努力してください。
・学校評価の結果では、どの項目も2～3割の方が低い評価をしています。その中で、「毎日学校に通っている」と答えてくれた保護者が9割もいたことにとっても嬉しく思います。